

京都の伝統産業

Traditional Industries of Kyoto

帆布製カバン



帆布とは1平方メートル当たり8オンス(約227g)以上の厚布のことである。帆布製カバンは明治時代に実用性を高め、ファッション性の高いデザインにより広まった。綿帆布・麻帆布を一枚ずつハサミで裁断し、職人がミシンで縫い、金具の取付などの仕上げもすべて手作業である。

明治時代 1868-1912

制作：京都市

京都の伝統産業

Traditional Industries of Kyoto

帆布製カバン



帆布とは1平方メートル当たり8オンス(約227g)以上の厚布のことである。帆布製カバンは明治時代に実用性を高め、ファッション性の高いデザインにより広まった。綿帆布・麻帆布を一枚ずつハサミで裁断し、職人がミシンで縫い、金具の取付などの仕上げもすべて手作業である。

明治時代 1868-1912

制作：京都市